

「おかざき未来“夢”プロジェクト 高校生と市議会議員の意見交換会 ～愛知県立岡崎工科高等学校 編～」

【目次】

- P2 議会広報委員所感
P3～ 高校生アンケート結果
P7 記録写真

【概要】

- 開催日 令和6年7月22日 月曜日
- 時間 14時から15時45分
- 場所 市議会議場・委員会室
- 参加者 愛知県立岡崎工科高等学校 20名
岡崎市議会(議会広報委員会) 9名

【次第】

市議会議場

14:00～14:05	開会・挨拶	岡崎市議会 議長 小木曾 智洋 愛知県立岡崎工科高等学校 校長 久永 記央
14:05～14:10	市議会紹介	議会広報委員会 委員 野本 篤
14:10～14:15	学校紹介	愛知県立岡崎工科高等学校 3年 下田 隼斗 3年 清水 椋介

委員会室

14:20～15:10	意見交換会
15:10～15:20	(意見とりまとめタイム)

市議会議場

15:25～15:35	生徒発表	
15:35～15:38	開会・挨拶	議会広報委員会 委員長 野島 さつき
15:40～	集合写真撮影	

【テーマ・参加者一覧】

A班：高校生の医療費無償化と熱中症対策（第1委員会室）

市議会議員：鈴木 静男（すずき しずお）、柳 賢一（やなぎ けんいち）
高校生5名
3年 柴田 大和（しばた やまと） 発表担当
3年 清水 椋介（しみず りょうすけ） 3年 下田 隼斗（しもだ はやと）
3年 稲垣 連大（いながき れんた） 3年 菊地 翼希（きくち つばき）

B班：観光地を増やしたい（第2委員会室）

市議会議員：三宅 健司（みやけ けんじ）、中根 善明（なかね よしあき）
高校生4名
2年 石田 虎琉（いしだ くりゅう） 発表担当
2年 伊豫田 陸（いよだ りく） 2年 岡田 修平（おかだ しゅうへい）
2年 山本 マテウス（やまもと まてうす）

C班：SDG'sの観点から岡崎市をみる（第3委員会室）

市議会議員：井町 圭孝（いまち よしたか）、野島 さつき（のじま さつき）
高校生5名
3年 内間 翔栄（うちま しょうえい） 発表担当
3年 南平 煌（なんぺい こう） 2年 西土 茂奈（にしど もな）
1年 中島 大夢（なかしま ひろむ） 1年 山田 美音（やまだ みおん）

D班：道路、公共交通機関（第4委員会室）

市議会議員：野本 篤（のもと あつし）、加藤 義幸（かとう よしゆき）
高校生6名
4年 山口 禅晴（やまぐち よしはる） 発表担当
4年 岩瀬 慧人（いわせ けいと） 3年 原田 虎太郎（はらだ こたろう）
3年 塚本 時之進（つかもと ときのしん）
2年 長谷部 陽樹（はせべ はるき） 2年 堀渕 隼巧（ほりぶち はやた）

※写真撮影担当 市議会議員：近藤 敏浩（こんどう としひろ）

- ・工科高校の生徒は、あらかじめ自分たちで決めたテーマについて、友人、知人等の意見を聞き取っており、それに自分たちの考えをのせてまとめたので、意見交換会もスムーズに進んだ。また、周りのアドバイスにもしっかりと聞く耳を持ち、まとめに生かしていたところも素晴らしい。
- ・4つのテーマ別で意見交換を行う中で、テーマ以外のことも自由に話せる空気作りが重要だと感じた。
- ・学校生活や通学中の身近なエピソードを話してもらうことで、結果的にメインテーマの課題に結びつき、一緒に考えることができるのだと気づいた。
- ・発言の割合が偏る場合があるため、ファシリテーターである議員側が、意見をあまり出していない生徒へ声がけをし、全員参加型の会にすることが課題と感じた。
- ・一人でも多くの生徒が発言でき、また参加したいと思える意見交換会になるよう、アンケート結果を生かしていく必要があると考える。
- ・岡崎市の康生が昔は栄えていたことを知識としては知っているようで、康生をそういう場所にしてほしいという意見もあった。自分たちの居場所が欲しいということなのだと感じた。どの年代の人でも自分たちがいられる場所が欲しいということなのだということが分かった。改めて居場所づくりの大切さと当事者から意見を聞くことの大事さが分かった。
- ・担当した班では公共交通や道路インフラが議題であったために、日頃の生活から感じられている不都合が先に立っていたように感じる。途中から、自分たちが感じている不都合に対して、もっと漫画みたいでいい、実現することが困難でもいいから、どうしたら改善できるのかを高校生に投げかけた。固定観念が無くなった時、現代を生きる若者らしいsociety5.0を思わせる素晴らしい意見をたくさん出してくれた。その意見を決して否定するのではなく受け入れ更に飛躍させて一緒に未来を思い描くことができたと感じている。
- ・昨年の意見交換会のアンケートに「高校生でも政治参加する方法はたくさんあることを知れた」というものがあった。意見交換会を政治参加の方法の一つと捉えての感想であると思うが、今後は、このような感想が多くなるような意見交換会にしてほしいと思う。
- ・参加した生徒は、科学技術部の生徒5名で、議員との意見交換のために、新聞で紹介された紙ファイルを製造している西尾のメーカーに出向いたり、SDGs未来都市をPRするためのオリジナルキャラクターをデザインしてくれたり、生徒たちの事前準備の凄さに感動した半面、背景や課題をもとに提案まで考えてもらっていたが、その提案をもっとブラッシュアップしてあげるべきだったと自分自身の対応に反省している。ただ、ブラッシュアップしなくても素晴らしい提案が含まれているので、関係部署には提案内容を伝えたいと思った。
- ・意見交換会全体の流れや個々の内容については良好であったと感じた。
- ・所要時間として、意見交換の時間を前回の2テーマから1テーマにして集中して意見交換できたことは良かった。しかしながら、前半で班の中のコミュニケーションを行いながらの意見交換となり、後半位でようやくテーマに沿った意見交換となった感触がある。欲を言えばもうワンクールの20分位長くてもいいのではと感じた。
- ・高校生が日頃感じていることや考えていることを直接聞ける機会は貴重であった。
- ・意見交換会の冒頭で「岡崎市議会について」の説明を聞いた効果もあり、観光施設の設置を考えるにあたり、建設場所とその時期・対象者・資金などを意識しながら意見を出してもらうことができた。
- ・有意義に進めるには事前準備も必要だが、流れによっては時間を十分に使って掘り下げて議論するなど柔軟に対応することが肝要であると考え。
- ・脱プラの取組として紙製ファイルを小中学校へ無償提供する提案は、紙製ファイルの周知につながるため、何かの記念品等で活用できるのではと思う。
- ・SDGs未来都市岡崎をPRするために、キャラクター「岡じい」を考えてくれるなど、意見交換会にむけしっかり準備をして臨んでくれ、感動した。

【参加者：高校生20名】

- 学年別参加者 4年生2名・3年生9名
2年生7名・1年生2名
- アンケート期間 7/22～7/29
- アンケート方法 グーグルフォーム

【回答者：21名】

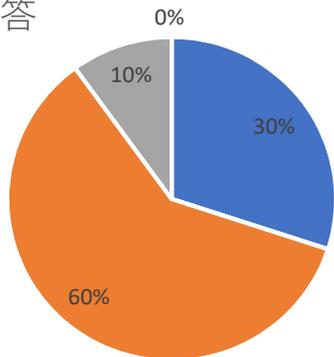
- 高校生20名・傍聴者（学校関係者）1名
- ・開催場所 議場が良い 19名 学校が良い 2名
- ・全員が議場に初めて入った。
- ・2名はテレビで見たことはある。

【議場についてなにか感じたことは？】

- ・居心地がよかった。
- ・広かった。
- ・緊張感のある場所だった。
- ・椅子が前後に動いたりして、すごい便利だった。
- ・議員さんの席にマイクがあって、すごいなと感じた。
- ・岡崎の取り組みなどの会議が行われている場所に、自分が入ると思わなかったため、少し驚いた。
- ・テレビで見ていた場所なので、すごくわくわくした。
- ・テレビで見たことある場所で、具体的にどんな雰囲気なのか、どんなことをしているのか分かることができた。

市議会（岡崎市の事業について）の紹介

20件の回答



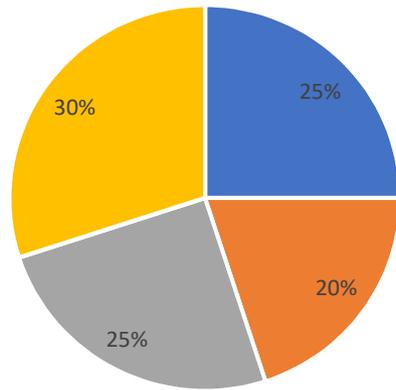
- よく理解できた
- まあまあ理解できた
- あまりわからなかった
- まったくわからなかった

【理由】

- ・丁寧な説明でよかった。
- ・説明がとても分かりやすかった。
- ・スライドで分かりやすく説明してくれた。
- ・議員の人数や何月に議会があるかなどを学んだ。
- ・議会がまずどのようなものなのか説明されつつ、普段やっていることを交えながら説明してくれた。
- ・議員さんが意見交換の間も、どういう感じなのか詳しく話してくれた。
- ・教わった内容は大体理解することができた。
- ・二元代表制などの話が少し難しかった。
- ・自分の知識不足。

あなたが参加したテーマを教えてください

20件の回答



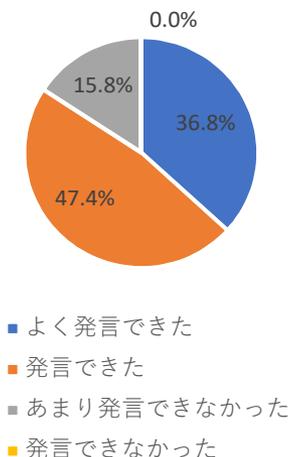
- A班：高校生の医療費無償化
- B班：観光地を増やしたい
- C班：SDG'sの観点から岡崎市をみる
- D班：道路、公共交通機関

【テーマ別意見交換会の感想】

- 議員さんがとても優しく、本当に話しやすかった。
- 自分の意見を言えた。
- できる、できないを詳しく知れた。
- 形のないところから、形のある話になってとても良かった。
- 市議会議員の方と意見を交わすことができる、貴重な機会を楽しめてよかった。
- 自分が思ってもいないような意見が出てきて、人数がいた方が斬新な意見が出るなと思った。
- 下調べが足りず、満足な意見交換ができなかった。
- とても良い時間を過ごせた。
- 自分とは違う発想の意見を聞き、別視点での考えを持てた。
- 実際にできるかもしれないと言われたとき、すごくうれしかった。
- 最後の発表で頭が真っ白になってあまり話したいことが話せなかった。意見交換の時は、議員さんとうまく話せた。
- どのように岡崎市の観光地を発展させていくか、考えることができた。
- 貴重な体験をすることができてよかった。
- 自分たちで意見をまとめてきたため、意見交換がスムーズに進んだ。
- 最初は緊張気味だったが議員の方がフレンドリーに接してくれたのですごくやりやすかった。
- 今できることだけでなく、未来にできることも考えることができて、自分の発想が広がった。
- 自分の思っていたことを全て話せたわけではないが、大体のことは話すことができ、それに対する市議の人たちの考えも教えてもらったので、いい話し合いができたと思う。
- 他の班では、その意見に対して話し合いによる結果や具体的に何をしたいのか分かりやすくまとまっていた。
- 自分たちの言いたかったことを素直に言えてよかった。

自分の意見が発言出来ましたか？

19件の回答

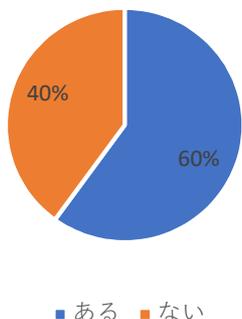


【その理由】

- ・話し合いが楽しく、よく参加できた。
- ・しっかりと話を聞いてくれた。
- ・グループワークみたいで、話しやすかった。
- ・議員の方の雰囲気作りに助けられ、話しやすい空気になっていた。
- ・議員の方が話しやすい雰囲気を作ってくれたので話せた。
- ・時間が短くもっと話したかったと思うが、とても話しやすい雰囲気でもわかりやすく流れを作ってくれたのでよかった。
- ・岡崎市民じゃないから岡崎のことをよく知らなかった。
- ・ものすごく緊張してしまい、事前に考えたこと以外発言できなかった。
- ・他の人の意見に納得することが多く、自分の意見が少し減ってしまった。

参加したことで新たな気づきや考え方などに変化はありましたか？

20件の回答

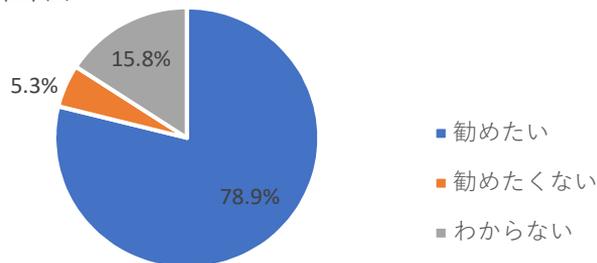


【「ある」と回答された理由】

- ・コストの面や調べきれてなかったことが見つかった。
- ・まず自分でできることは何なのかを考える姿勢。
- ・できることの範囲で考えるのではなく、考えを出してからできるかどうかを考えることが大切だと学んだ。
- ・私たちが知らないだけで、市役所ではSDGsに関する活動をしていることに気づいた。
- ・D班の意見で、自分にはなかった考え方をしていた。
- ・フードドライブを自分たちがやってみるとよい、ということに気づいた。
- ・高校生の感じていることに対して、議員の方々も同じことを感じていることもあり、少し親近感を持つことができた。
- ・議員の方たちは堅苦しい感じなのかと思っていたけど、すごく話しやすくなるような雰囲気でも話をしてくれて、議員の人に対する考え方が変わった。
- ・まだ自分は岡崎市に対して知らないことが多く、もっと知りたいと思った。

意見交換会を、後輩や友達に勧めたいですか？

19件の回答

【本日のテーマ以外に、
市政について知りたいことは？】

- 原子力、特にRIの扱いの意識について

【意見交換会全体について、ご意見があれば自由に記載してください】

- ぜひ機会があればまた参加したいです。
- とても楽しかった。
- ありがとうございます。
- このような時間を作っていただき、ありがとうございました。
- もう一度参加したいと思いました。
- 発表の時に、意見をまとめたホワイトボードが近くにあったら、もうちょっと話せた。
- もう少し意見交換の時間を長くして欲しい。
- 議場に入ることができてよかった。
- 普段あまり体験できないような雰囲気だったり、新鮮な感覚を感じることができてよかった。
- 最後に議長の席に座れたのが良かったです。
- とても学生にとっていい会だと思います。

○挨拶 岡崎市議会 小木曾議長



○挨拶 愛知県立岡崎工科高等学校 久永校長



○生徒発表 (A班)



○生徒発表 (B班)



○市議会紹介 議会広報委員会 (野本委員)



○学校紹介 愛知県立岡崎工科高等学校 (下田隼斗さん・清水椋介さん)



○生徒発表 (C班)



○生徒発表 (D班)



○意見交換会の様子 (A班)



○意見交換会の様子 (B班)



○閉会挨拶 (議会広報委員会 野島委員長)



○議場の様子



○意見交換会の様子 (C班)



○意見交換会の様子 (D班)



○集合写真①



○集合写真②

